

# 第1号議案

## 令和3年度事業計画並びに収支予算の承認について

### 令和3年度事業計画

#### I. 事業方針

昨年、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルスは、人々の暮らしのあり方を変え、経済・社会、さらには我々の事業にも非常に大きな影響を与えています。また国内では7月の豪雨・台風10号等の自然災害の発生や、豚熱・鳥インフルエンザといった家畜伝染病の拡散による甚大な被害が発生しています。

農業を取り巻く情勢においては、すでに発効している環太平洋連携協定（TPP11）、欧州連合（EU）との経済連携協定や日米貿易協定、昨年合意した地域的な包括的経済連携（RCEP）などの国際貿易交渉が進展し、日本農業はかつてない市場開放の時代を迎えています。

このような中、日本の食糧自給率は大きく下回り、昭和40年度には73%だった自給率が、平成22年度には39%まで落ち込みました。これは主要先進国の中でも最低水準となっており、国民の多くが食糧事情に不安を抱き、食糧自給率の向上を望んでいます。

そのためには、国内農業の生産基盤の強化等により、消費者の求める安全・安心な農産物を安定的に供給することが重要であり、特に水田農業では、産地が主体的に需要に応じた主要農産物の生産に取り組むことが課題となっています。

種子に関しては、昨年4月に「栃木県奨励品種の優良な種苗の安定供給に関する条例」（以降、条例）が施行され、県や関係団体が一体となって、種子生産供給体制を維持・発展させる取組がスタートしました。

こうした中、当協会は条例に基づき「種苗生産等計画策定者」に指定されたので、主要農作物の優良種子の安定供給対策や品質向上対策等を通して、水田農業の経営安定と所得向上が図れるように、令和3年度事業に取り組んで参ります。

主な取組事業として、優良種子の生産と安定供給対策事業では、従来 of 事業を継続して実施し、県の稲麦大豆生産振興方針の下、需要動向等を見極めながら計画的に生産を進めます。

次に消費者・実需者から選ばれる主要農作物の生産と品質改善対策事業では、栽培技術指導資料の作成・配布や講習会等への助成事業、受検対策など従来 of 事業を継続して実施します。

広報活動については、情報紙の発行やホームページの活用により、生産者や消費者に向けて情報を発信します。

## II. 実施事業

### 1. 優良種子の生産と安定供給対策事業

主要農作物生産の基礎となる優良種子の生産と安定供給を図るため、計画的な種子生産や生産指導と品質向上、種子の安定供給、品質管理、種子生産体制の強化、などを実施します。

#### (1) 種子の生産

事前予約された需要数量を基本に、流通動向、新品種の振興計画、備蓄数量などを勘案して県・関係機関と協議の上、「種子生産計画」を策定し、種子の生産にあたります。令和3年産種子生産計画は別表1のとおりです。

〈主な事業〉

- ・種子生産計画の策定
- ・作付品種の許諾契約締結
- ・種子生産者と採種ほ場面積の確保
- ・他県との連携による種子生産の受委託

#### (2) 生産指導と品質向上

種子生産ほ場での生育状況や生産見込数量などを的確に把握するため、ほ場確認等へ参加すると共に各種研修会の開催、種子伝染性病害等防除への助成を行い、種子生産技術及び品質の向上を図ります。

また、種子検査見本品の作製・配付や調製程度確認会を開催し、優良種子を確保します。

〈主な事業〉

- ・ほ場確認会、生産物確認会、下見指導会、農産物検査への立会・参加
- ・種子品質向上研修会や種子生産研修会の開催
- ・栽培講習会への参加
- ・種子伝染性病害等防除への助成
- ・GAPシートの配布
- ・種子検査見本品の作製・配付と調製程度確認会の開催

#### (3) 混種事故防止対策

混種事故防止対策については、各種対策に取り組み、コンタミ防止の徹底に取り組みます。

- ・種子GAPの実践促進や異品種混入防止チェックシートの配付
- ・種子生産者の1品種作付け推進
- ・JAでの原種消毒の実施および原種専用ネットの作成
- ・収穫等機械の共同利用の促進

#### (4) 品質管理

種子の品質管理を適切に行うため、稲種子の DNA 分析を実施し、併せて混種事故を防止すると共に確認展示ほ設置の支援を行います。

なお備蓄種子の発芽試験等を行い、品質を確保します。

〈主な事業〉

- ・ 稲種子 DNA 分析・調査の実施
- ・ 稲種子確認展示ほの設置
- ・ 備蓄種子の発芽試験の実施

#### (5) 優良種子の安定供給

需要に応じた優良種子の安定供給を図るため、関係機関・団体とともに種子需要動向を把握し「種子需給計画」を策定するとともに、不測の事態等に備え計画的に種子の備蓄(低温保管)を行います。

また、種子場における大幅な品種転換が円滑に進むように重点的に支援します。

〈主な事業〉

- ・ 種子需給計画の策定
  - ・ 計画的な種子の備蓄（回転備蓄）
  - ・ 種子消毒の実施（備蓄種子の消毒含む）
  - ・ 残量処理の実施（発生に応じた処理と需要生産者の費用負担）
  - ・ 事故処理の実施（発生に応じた処理と種子生産者の費用負担）
- 事故処理に備えて、種子生産者から 1 円 / k g を預かります。

#### (6) 種子生産体制の強化

種子の安定供給を支えるため種子場農協交付金を従来通り交付します。

また、県が設置する「種子生産体制強化検討会」（以降、検討会）に参画し、種子生産者や種子場 JA、種子センター等の現状と課題を踏まえた種子生産体制強化方針について検討を進めます。

〈主な事業〉

- ・ 種子場農協交付金の交付
- ・ 「検討会」での種子生産体制強化方針の策定への参画
- ・ 種子センター生産体制の検討
- ・ 優良種子生産部会の表彰

## 2. 消費者・実需者から選ばれる主要農作物の生産と品質改善対策事業

主要農作物を栽培する一般生産者向けの栽培技術指導と品質改善対策について、「栃木県稲麦大豆安定生産推進会議」が策定した栽培技術指針等に基づき、以下の事業を実施します。

### (1) 栽培技術指導及び品質改善対策

主要農作物生産の栽培技術向上や品質の改善、病虫害の防除を図るため、県・関係機関の指導を得て、適切な栽培技術指導及び品質改善指導資料を作成し生産者に配付します。

また、安全・安心な高品質・良食味の農産物を生産するため、地域の生産者を対象に地方農業振興協議会が実施する各種講習会に助成します。

### (2) 受検対策

栃木米品質の高位平準化と円滑な受検の実施を目的に受検対策会議を開催し、事前指導事項の徹底を図ります。

- ・米受検対策会議の開催
- ・受検指導資料の作成配付

## 3 広報活動

関係機関等の指導者が生産者を指導する際に活用して頂くため、協会情報紙「とちぎ米麦改良」を発刊・配付します。

また、当協会ホームページにて生産者や関心のある一般消費者向けに生産技術等各種情報を提供します。

## 4. 令和3年度主な事業活動予定

別表2のとおりです。

別表1 令和3(2021)年産主要農作物種子生産計画

(単位:a、kg、%)

種類	品種名	計画面積	計画数量A	2年産生産計画 数量B	前年産比 A/B
水稲	コシヒカリ	24,790	991,600	986,000	101%
	あさひの夢	8,900	391,600	391,600	100%
	なすひかり	2,070	82,800	92,000	90%
	とちぎの星	8,200	360,800	360,800	100%
	夢ささら	30	1,200	1,200	100%
	きぬはなもち	400	14,400	14,400	100%
	小計	44,390	1,842,400	1,846,000	100%
陸稲	トヨハタモチ	50	1,000	4,500	22%
	小計	50	1,000	4,500	22%
水陸稲計		44,440	1,843,400	1,850,500	100%
六条大麦	シュンライ	3,600	102,600	99,000	104%
二条大麦	ニューサチホゴールド	21,300	692,250	692,250	100%
	とちのいぶき	500	18,000	18,000	100%
	小計	21,800	710,250	710,250	100%
小麦	さとのそら	1,700	61,200	61,200	100%
	イワイノダイチ	800	26,400	14,850	178%
	タマイズミ	1,800	59,400	64,350	92%
	ゆめかおり	900	22,500	21,600	104%
	小計	5,200	169,500	162,000	105%
麦類計		30,600	982,350	971,250	101%
大豆	里のほほえみ	3,468	62,430	62,430	100%
合計		78,508	2,888,180	2,884,180	100%

注1

※

注1) シュンライ4,000kg県外に委託しています。(外数) シュンライ計画数量 106,600kg

※) 令和3年3月末見込み

有機種子	コシヒカリ	130	1,560	1,500	104%
水稲	とちぎの星	0	0	600	0%

